

第4回 第3次二宮町男女共同参画プラン策定委員会 議事録

日 時:令和5年3月3日(金) 13:30~14:35

場 所:二宮町役場 第1会議室

出席者:岡野委員長、谷本副委員長、夏目委員(オンライン)、小林委員、帰山委員、片岡委員、磯部委員、遠藤委員、小野寺委員、高見委員、加山委員

町:町長、地域政策課3名

傍聴者:なし

1. 開 会

(事務局) ただ今より令和4年度第4回第3次二宮町男女共同参画プラン策定委員会を開催する。本日は傍聴希望者がいない旨、報告させていただく。

2. あいさつ

(委員長) 策定委員会としては、本日が最終回となる。2か年かけて、ようやくプランができ上がってきた。途中途中で、色々な視点からのご意見、自分は家庭と職場での視点でしか実感できない部分があったが、例えば、学校での目線や違う業界の目線など、様々な目線でのご意見をいただけたのが良かったと思う。本日は最終(案)の確認となるが、これまでのことを振り返りながら確認していただき、今回の活動の締めとして考えてもらえればと思う。

(町 長) 委員長の挨拶にもあったが、策定委員会として、2か年にわたり作成していただいた。長い間、会議へご出席していただき、また様々なご意見をいただいたことで、にのみやジェンダー平等プランを作成することができ感謝申し上げる。時代や社会も大きく変わろうとしているなかで、今までの男女平等の視点から、さらに多様性も認め合い豊かな社会を作っていくといった視点のプランができた。

二宮町は規模が小さい自治体ではあるが、その中で実際に運用をしていくことで、このプランが活きる場が出てくると思う。

二宮町議会の女性議員は5名で、議長も副議長も女性である。昔から町議会は比較的、女性比率が高いが現在は35.7%である。

この委員会も女性比率が高いが、一方で他の審議会や委員会などは、まだ男性が多く、女性委員の成り手を見つけることに苦労しているところもある。

皆さんも様々な形で今後も町にご参加いただけるよう、また、周りの方にもお声掛けしていただければ幸いである。

この第3次プランを実行性のあるものに、これから努めていくため、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(事務局) ここで、町長については他の公務があるため、退席させていただく。

— 町長退席 —

- (事務局) 会議の進行については、設置要綱第6条に基づき、委員長にお願いする。
- (委員長) それでは、議題に沿って会議の進行をさせていただく。
議題(1)の「にのみやジェンダー平等プラン(案)～第3次二宮町男女共同参画計画～」について事務局より説明をお願いする。

3. 議題

(1) 「にのみやジェンダー平等プラン(案)～第3次二宮町男女共同参画計画～」について

— 事務局説明 —

- (事務局) 26 ページの施策7「多様な家庭の安心な暮らしの形成」における「施策の方向の成果指標(数値目標)」の「家庭・育児・介護支援事業数」についてだが、担当課より現状値が異なるとの報告があったことから見直しをしたところ、支援対象事業が明確でないことから、数値目標には適していないと考えるが、ご意見をいただきたい。
- (委員長) 事業の数というより、事業一つ一つのクオリティを上げる方に視点を移した方が良いのではないかということか。事業を単純に実施すれば良いということでもない。
- (委員) 事業ナンバー15「町職員の時間外勤務の縮減」だが、記載がある定時退庁日の設定は良いと思う。地区長をやっているが、夕方の6時や7時に町職員とコンタクトをとることがあったり、電話がかかってきたりするため、町職員が残業しているのを身近に感じている。
自分の会社では、その日に残業する場合、管理職、主に部長になるが、残業の承認を逐一取るという仕組みとなっている。そのため、無駄な残業が無くなり、それが上手く回っていけば、自然と残業が削減されてくる。そういった仕組みも一つのアイデアとしてある。
- (事務局) 町も同様の制度がある。
- (委員) 3月決算のため、1～2月になると、出張や残業の決裁が役員決裁などになり、厳しくチェックされるようになる。
- (事務局) 残業代が減れば、コストカットになるということか。効率的に仕事をすれば、余計なお金がかからない。
- (委員) そうである。業務の効率化を考えていかないといけない。
- (委員長) 自分の会社では、「チャレンジ 20」という、20 時には必ず帰ろうという取り組みがある。社内が一斉消灯され、その時間に帰らざるを得ない状況になる。
- (事務局) それは毎日なのか。
- (委員長) 毎日である。海外との仕事もあり、会議時間が遅く設定される場合もあるため、全部ではないが基本ルールはその仕組みとなっている。

場所や仕事の内容によって様々だとは思いますが、色々なアイデアがあると思う。
(委員) 28ページの未病センターの紹介は、パッと見ただけで未病センターが分かって良いと思った。

他にも例えば、町のがん検診などの通知にこういった形で案内があった方がもっと知るきっかけとなると思う。

(委員長) このプランの随所にコラムがあるが、良いアイデアである。こういう形でこまめに発信されていけばと思う。

蛇足ではあるが、ある小学校の5～6年生のデジタル教科書の研究で、子どもたちがどこに一番タッチするかというと、歴史のコラム、小さい出来事がパッと短い文章で書いてあるコラムに子どもたちは興味を持ち、タッチをしていくという。そういった例をみると、コラムには大事な機能があると思う。ぜひコラムを積み重ねて周知の輪を広げてもらえればと思う。

(委員) 今回、変更、修正した部分は良いと思う。

パブリック・コメントで意見のあった「時間外勤務の縮減は、雰囲気だけでない」というのは、改めてそうだなと感じた。今回意見をもらえて良かったのではと思う。

(2) その他

① 「人権講演会」について

② 高見委員による「男女共同参画フォーラム」「にのみや男女共同参画推進の会」について

4. 閉会

(事務局) この後、政策会議に諮り、3月末までにプランは完成となる。完成後は、委員各位へお送りさせていただく。

それでは、第4回策定委員会を閉会とさせていただく。

最後とはなるが、お忙しい中、会議にご出席いただき、またプラン策定にご協力いただき感謝申し上げます。